



◆ 文化のみち二葉館 施設案内 ◆

文化のみち二葉館は建物が2000年に名古屋市へ寄付されてから5年の歳月を経て文化のみち（名古屋城～徳川園・東西約3km）の拠点施設として、東区榑木町に移築復元されました。「文化のみち二葉館」という愛称には、旧川上貞奴邸がかつて東二葉町にあり、「二葉御殿」という名で親しまれていたこと、また、新しい芽のふたばのように文化のみちが成長していくという期待が込められています。

大正9年に創建された「二葉御殿」は、日本の女優第一号と謳われた川上貞奴と電力王と称された福沢桃介が約5年間暮らしていました。館内では、貞奴・桃介の紹介とともに調度品などの資料を展示しており、当時の様子をご覧ください。



川上貞奴

明治4（1871）年生まれ。16歳で芸者となり、23歳で書生演劇の川上音二郎と結婚。川上一座のアメリカ巡業で、女優として初めて舞台に立つ。ヨーロッパに渡り、明治33（1900）年のパリ万博でマダム貞奴の名は、一躍有名になる。音二郎の死後、福沢桃介の事業パートナーとして、また自らも事業家として、「二葉御殿」で暮らした。



福沢桃介

明治元年（1868）生まれ。福沢諭吉の次女ふさの婿。名古屋電灯（株）の取締役となった頃から電力事業に乗り出し、大同電力（株）を設立。名古屋を拠点として、木曽川水系に大井発電所をはじめ7カ所の発電所を建設。電力王といわれた。



文化のみち二葉館 大広間

政財界の人物が集まりサロンとして使われていた大広間は、ニカ所のステンドグラスからこぼれる光が華やかさを演出します。二階へと続く螺旋階段もひとさわ優雅に広間を引き立てます。パネルやビデオで建物の歴史や文化のみちの町並みを紹介するとともに、企画催事などを開催して様々な文化を発信しています。



展示室（1階）

貞奴・桃介の生涯を紹介するパネルとあわせて、主に女優として活躍していた頃の資料とともに、二葉御殿を拠点に進められた木曽川の7カ所の発電所を紹介しています。



郷土ゆかりの文学資料展示室（2階）

近代文学の祖こと、坪内逍遙をはじめ、城山三郎（直木賞）、小谷剛（芥川賞）、江夏美好（田村俊子賞）、春日井建（沼空賞）など名古屋を中心とする郷土ゆかりの文学者および文学作品を、資料やパネルで紹介しています。また、当地において盛んに展開されてきた同人誌活動を振り返ります。書籍の一部は本棚に配架しており、手にとって自由に閲覧いただけます。

※各展示室とも企画展開催時は展示替えします。

文化のみち二葉館 【名古屋市旧川上貞奴邸】

〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目23番地
TEL / FAX 052-936-3836
URL <https://www.futabakan.jp/>
開館時間 / 午前10時～午後5時
入館料 / 一般200円、中学生以下無料
休館日 / 月曜日（祝日の場合はその翌日）



交通のご案内

●なごや観光ルートバス メーグル「文化のみち二葉館」下車 ●地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分 ●名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分 ●市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分 ●基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

ドニチエコきっぷ 一日乗車券・24時間券を利用してご来館の方は、**文化のみち二葉館 入館料割引!** 一般 **200円 ▶160円**

＊柳家三亀介・銀太郎による獅子舞のご披露

＊瑞祥 歌のにぎわい

2/8（土）10:30～11:30

＊蘇水煌煌 ～「オペラ貞奴」から 桃介・貞の aria と二重唱～

2/8（土）14:00～15:00

＊成澤布美子ひとり語り「十二人の貞奴」

2/9（日）10:30～11:40、14:00～15:10

展示

貞奴オンパレード

2/8（土）～2/14（金）

川上貞奴の愛した雛人形とお琴

2/19（水）～2/24（月・振）

開館20周年 文学者コレクション展

2/5（水）～3/9（日）

＊リーディングライブ『そうか、もう君はいないのか』

2/16（日）11:00～12:00、14:00～15:00

※要申込 1/28（火）10:00より受付

＊大広間催事 ※各催事の詳細は中面をご覧ください

文化のみち二葉館 【名古屋市旧川上貞奴邸】

主催：文化のみち二葉館 協力：川上家、成田山貞照寺、柳家三亀介・銀太郎、端唄 華房流華の会、創作オペラ「貞奴」プロジェクト、成澤布美子、榑原忠美、熊谷祥子、福よせ雛プロジェクト、古製美術工房、画家・柳瀬辰久、山田久仁夫、音貞oppoke祭実行委員会、東区文化のみちガイドボランティアの会、文化のみち榑木館（順不同 敬称略）

ふたばの日

令和七年二月八日（土）

2月8日（土）と9日（日）は

終日 入館料無料!!

開館時間 10:00～17:00

※文化のみち榑木館は2月8日（土）のみ終日入館料無料

文化のみち二葉館 入館者プレゼント

2月8日（土）のみ 10:00より
先着100名様に記念品を進呈



柳家三亀介・銀太郎による獅子舞のご披露

獅子舞は、日本各地の正月行事や晴れの日に舞われる伝統芸能で、獅子に頭をかまれると、その年は無病息災で元気に過ごせるという言い伝えがあります。

2/8 土

瑞祥歌のにぎわい

開館 20 周年を寿ぎ、祝い唄の数々を歌と踊りでお楽しみください。そして、この日のために作曲した記念の曲「ふたば恋唄」を発表します！皆さま、ぜひ一緒に歌って盛り上がりましょう。

日時 ◆ 2 月 8 日（土）10:30 ～ 11:30

出演 ◆ 柳家三亀介、銀太郎

端唄 華房流 華の会 社中 宗家 華房真子 家元 華房小真

会場 ◆ 1 階大広間 ※当日先着自由席

柳家三亀介（やなぎやみきすけ）/ 日本舞踊

平成5年に銀之城一座を旗揚げ（座長）、同年 Office りらを設立。「藤十郎の恋」など舞台多数、中学生日記や東海ラジオ（名作ドラマ劇場）で活躍。エルミタージュやワシントンの桜まつりなど世界9ヶ国で「獅子舞」を上演。日本舞踊瑞鳳流師範・瑞鳳とよ之丞、名古屋発祥伝統芸能寿獅子舞「柳獅会」会主・柳家三亀介。名古屋放送芸能家協議会専務理事、愛知芸術文化協会 ANET 理事。



端唄 華房流 華の会（はうた はなぶさりゅう はなのかい）

江戸期より伝わる端唄・小唄を中心に、名古屋の伝統芸能「正調名古屋甚句」「熱田神戸節」「都々逸」の演奏・指導・伝承に力を入れ、舞台・テレビ・ラジオに多数出演し、やっとかめ文化祭、愛知国民文化祭ほか多くの自治体からの演奏依頼を受け積極的に活動している。名古屋の伝統文化と江戸期の伝統芸能を親しみやすく伝承・保存するため、名古屋を中心に稽古場を設け、全国で演奏活動・指導し、後進の育成に力を入れている。



宗家 華房真子（はなぶさまさこ）



家元 華房小真（はなぶさこまき）



展示 貞奴オンパレード

貞奴の生きた時代に思いをはせて、現代に遺る貞奴の愛用品や資料などを展示します。

期間 ◆ 2 月 8 日（土）～ 2 月 14 日（金） 会場 ◆ 1 階 展示室、2 階 和室 協力 ◆ 成田山貞照寺

蘇水煌煌 ～「オペラ貞奴」から桃介・貞の aria と二重唱～

2/8 土

二人の木曾川水力発電ドラマを高らかに歌い上げます。

日時 ◆ 2 月 8 日（土）14:00 ～ 15:00

出演 ◆ 貞奴 金光順子（ソプラノ）、桃介 岡部敬太郎（バリトン）
津田佳世子（ピアノ）、大谷泰史（エレクトーン）

会場 ◆ 1 階大広間 ※当日先着自由席

金光順子（かねみつじゅんこ）

創作オペラ「貞奴」プロジェクト代表。日本演奏連盟および名古屋演奏家ソサエティ会員。岐阜県で開催された二度の国民文化祭において、1999 年にオペラ「鏡の森の物語」企画制作委員を務め、2024 年には恵那峡でオペラ貞奴の大井ダム竣工 100 周年記念公演を率いた。

岡部敬太郎（おかべけいたろう）

国立音楽大学卒業、ジュリアード音楽院で学ぶ。ニューヨークの Amato Opera 専属歌手として活躍。オペラ貞奴では音二郎役から桃介役まで歌いこなす。



金光順子



岡部敬太郎

創作オペラ「貞奴」プロジェクトは、川上貞奴が自ら創建した菩提寺・貞照寺がある岐阜県各務原市で、地元のソプラノ歌手・金光順子を中心に、その生涯をオリジナルのオペラとして制作・上演する活動を約 15 年間続けてきた草の根オペラの市民団体です。今回の演奏では、川上貞奴が福沢桃介に協力して取り組んだ木曾川の水力発電事業にフォーカスした楽曲を中心に演奏します。約 100 年前のドラマチックな大仕事を思い浮かべながら、どうぞお楽しみください。

成澤布美子ひとり語り「十二人の貞奴」

2/9 日

日本の女優第一号と謳われた川上貞奴が生誕して 153 年。女性として嫺やかに、けれど強く！波乱万丈に生きた貞奴の人生に携わった人々の証言として、「川上貞奴」の様々な側面を、成澤布美子の想像豊かな視点も交えて、一人語りを行います。

日時 ◆ 2 月 9 日（日）10:30 ～、14:00 ～

※開場は各 30 分前 公演時間 約 70 分

出演／脚本 ◆ 成澤布美子

演出 ◆ ふじたあさや 音楽 ◆ 藤本直生久

協力 ◆ 加藤敦雄

会場 ◆ 1 階大広間 ※当日先着自由席



成澤布美子（なりさわふみこ）

NHK—FM「歌謡スクランブル」DJ&構成など、フリーアナウンサー・放送作家を経て、子育て中に人形劇と出逢い、市民劇団「劇団わが町」で劇作家・演出家のふじたあさや氏と出会い、師事。現在は司会者・俳優・表現ワークショップ講師・脚本・演出・ライターなど、表現活動は多岐に渡る。あらら企画代表、日本児童青少年演劇協会会員、日本演劇教育連盟会員、教育支援人材認証協会「こども支援王」。



展示 川上貞奴の愛した雛人形とお琴

貞奴が大切にしていた雛人形はとても小さいけれど、繊細な職人技で作られています。

また、お琴にも飾りが施されています。

期間 ◆ 2 月 19 日（水）～ 2 月 24 日（月・振）

会場 ◆ 1 階 展示室 協力 ◆ 成田山貞照寺

※同時期開催で「福よせ雛」の展示もあります。

開館 20 周年 文学者コレクション展

二葉館の 2 階には「郷土ゆかりの文学資料室」があり、年間を通じて様々な文学者を展示紹介しています。今回は、収集された文学收藏品の展示と共に、歴代の文学展を紹介します。

期間 ◆ 2 月 5 日（水）～ 3 月 9 日（日） 会場 ◆ 2 階 展示室



リーディングライブ『そうか、もう君はいないのか』

2/16 日

作家・城山三郎が、妻 容子との思い出をつづった『そうか、もう君はいないのか』をヴァイオリンの調べとともに朗読します。

日時 ◆ 2 月 16 日（日）11:00 ～、14:00 ～

※開場は各 30 分前 公演時間 約 60 分

出演 ◆ 榊原忠美（俳優）、熊谷祥子（ヴァイオリニスト）

会場 ◆ 1 階大広間 定員 ◆ 各回 30 名

申込 ◆ 1 月 28 日（火）10:00 ～文化のみち二葉館へ電話

榊原忠美（さかきばらただよし）

表現を追求して演劇と共に朗読も行っている。「ドン・キホーテ」（セルバンテス作）や「イノック・アーデン」（アルフレッド・テニスン作）などを公演。（劇団クセック ACT 所属）



熊谷祥子（くまがいしょうこ）

東京音楽大学卒業後、ベルギー王国歌劇場管弦楽団に入団。ベルギーのみならず、ドイツ・フランス・チェコなど各地で演奏。現在は名古屋バロックオーケストラのコンサートマスターを務めている。

